

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート トーキングキッズ・英検対策クラス 英検合格率は年々上昇中 「プレップクラス」「アドバンスクラス」 増設で更なる飛躍を目指します

近久 賢治 (TK・英検対策クラス)

新年を迎え、寒さも一層厳しくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。高殿教室の近久です。旧年末はようやくコロナ禍が落ち着いてきたと思いきや、新年明けからというもののまた物凄い勢いで感染が広がっております。3密を防止、換気消毒など日々凡事徹底に努めてまいりたいと思います。

さて、今回はトーキングキッズと中学英検講座の今年度を振り返りたいと思います。

まず英検の結果から振り返りますと、トーキングキッズ、中学英検講座生ともとても健闘しております。今年度の2回分の合格者データを見てみると、5級が34人中32人(合格率95%)、4級が50人中42人(合格率84%)、3級が71人中58人(合格率82%)、準2級が82人中35人(合格率42%)、2級が43人中8人(19%)となりました。参考書やHPなどで見られる一般的な合格率を見てみると、3級の一般合格率が52.9%、準2級が36.7%、2級が26.4%となっております。上々の結果だけに、第3回英検に関してはコロナウィルスによる学校休校で受けられない子どもたちも何人か出てきて、講師一同大変悔しい思いをしております。

き、盛況で終えることができました。とはいえ、夏のメインイベントである「サマーキャンプ」や10月の「ハロウィンイベント」など、企画していた数々のイベントがコロナ禍で流れてしまったので、来年度こそはできればなあ、と考えています。「英語をしっかり勉強する」という部分も大事ですが、「英語を楽しむ」面を追求することもTKの先生達が目指していることです。



◀理科実験の一幕。水の袋に鉛筆を刺すとどうなるか？

そして来年度に向けて講師間でさまざまな議論が交わされています。特にトーキングキッズクラスでは、下は年長から上は小学6年生まで、幅広い子どもたちが通っているばかりでなく、「まずは英語を抵抗ないようにしたい」というニーズから「すぐに英検を受けさせたい」というニーズまで、たくさんのご期待に添えられるよう、日夜カリキュラム関連は特にしっかり練っています。

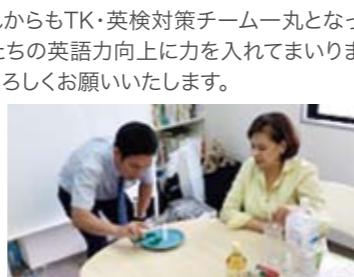
年度内に英検5級を目指すカリキュラムではありませんが、しっかりと、そしてゆっくりめにアルファベットの発音から名詞や動詞の授業をしていく予定です。こちらのクラスでは5級以上のクラスと同様、外国人の先生と日本人の先生がペアで行います。ビギナークラスは終わったけれどちょっと英検には早いかな?という方や、英検5級クラスに入ったけれどちょっとペース的に厳しかったかな、という生徒のためのクラスです。

「アドバンスクラス」では、英検3級合格者を対象に日本人の先生は準2級以上の文法を一旦後回しにし、中学レベルの英文法をしっかり学ぶことによりライティングに特化させるように授業を進めてまいります。リスニングやスピーキングに関しては英検の準2級、2級の過去問を使って実施し、英検4技能の能力のみならず、英検2級、準2級取得の土台作りと将来の受験を見据えた指導を行います。アメリカンスクールに入っておりあえず英検3級まで取ったけれど文法や単語が苦手、という方は最初の5級文法から自分のペースで進められますのでぜひご検討ください。



◀こちらはアドバンスクラスのテキストです。文法から、英検上位級の試験にあるライティング表現力を磨きます!

中学英検講座に関しては特に大きな変更はございませんが、中学生ともなると試験1か月前からの取り組みで結果が大きく変わっている気がします。定期テストと被るうと、しっかりと計画を立てて、試験に臨んでいってください。これからもTK・英検対策チーム一丸となって子供たちの英語力向上に力を入れてまいりますのでよろしくお願いいたします。



▲模擬授業の一幕。楽しく厳しく頑張ります!

そんな中で来年度より、新設クラスを開講いたします。「プレップクラス」「アドバンスクラス」です。

「プレップクラス」は、英語が初めての方が入会する「ビギナークラス」と1年で英検5級の内容をすべて網羅する「英検5級クラス」のちょうど間に当たるクラスです。



◀プレップクラスの教科書を少しだけ公開。楽しい絵がたくさんあるので英語を「見て」理解できます!

級別(年度別)の合格率 (1級~3級は一次、二次共合格)	2010	2011	2012	2013	2014	2015	Pass rate of EIKEN
6級	83.1%	82.5%	83.0%	82.4%	82.0%	81.4%	
4級	71.4%	69.9%	69.8%	70.1%	69.4%	69.9%	
3級	53.1%	51.6%	55.3%	53.4%	54.6%	52.9%	
準2級	35.1%	36.1%	35.6%	35.9%	35.7%	36.7%	
2級	24.9%	25.2%	25.0%	26.2%	25.1%	26.4%	
準1級	14.4%	14.5%	15.1%	15.3%	15.3%	16.0%	
1級	8.8%	9.6%	10.0%	10.4%	10.4%	12.0%	

◀英検各級の合格率です。5級~3級は驚異の合格率です!

また、数字をズラズラ並べてややこしいお話をしました。要はここ数年でTK(トーキングキッズ)クラスでも、中学英検講座でも、3級以上の受検が目に見えて増えてきた、ということです。私が中学生の頃には「英検3級の資格は中3で持っているら内申等の資料に書ける」というようなお話がありましたが、それを考えると今の子どもたちは凄いです。そのうち小学生の内に2級取得が当たり前、なんてことになってくるのでしょうか。そうなれば英語も大切ですが、その土台となる国語力が必要になってくる気もします。

また、イベント関係も理科実験を行うことがで

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

中高一貫校に負けない

対島 広史 (カイチ予備校、エニグマ)

東大合格者数

2021年度の高校別東大合格者数は、次表のようになっています。

順位	高校名	人数
1	開成	144
2	灘	97
3	筑波大附属駒場	89
4	麻布	86
5	聖光学院	79
6	西大和	76
7	桜蔭	71
8	渋谷教育学院幕張	67
9	日比谷	65
10	駒場東邦	56

このトップ10の高校のうち、公立高校はいくつあるかわかりますか?

正解は1校、9位の日比谷高校のみです。他は全て6年制の中高一貫校です(3位の筑波大附属駒場は国立の中高一貫校、その他は私立。)

なぜ中高一貫校は強いのか

東大合格者ランキングの上位に私立の中高一貫校が並ぶようになって久しいのですが、なぜこうなったのかは色々な要因があります。ただ、その中で圧倒的に言われるのが「先取り学習」です。

中高一貫校の進学校では、中学時代に高校範囲のかなりの部分の学習を進める学校が多く、これが大学受験において大きなアドバンテージになっています。特に数学において顕著で、中学3年生の時点で高校2年生の範囲の学習まで終わっている中高一貫校も少なくないのです。

公立高校から東大に合格するには

では、公立高校から東大をはじめとする難関大学に合格するにはどうすればよいのでしょうか。もちろん「早めに学習を始める」ことが重要なのは当然として、見逃されがちな下記の2点を強調したいと思います。

●学校の定期テストを大切に

「定期テストが大事」というのはアタリマエではないか、と思うかもしれませんが、ただ、大学受験では必ずしも内申点で合否が決まるわけではないので、学校の成績が悪くても要は入試でよいという側面があるのです。

高校生の方には、特に理科、社会の定期テストをしっかり勉強するようお伝えしています。メイン教科の英語、数学は普段から勉強する人が多いのですが、理科は定期テスト前しか勉強しないこともあり、その定期テストをさぼってしまうと、大学受験1年前になって「何も頭に入っていない」ということになります。これではせっかく英数で実力をつけていても、難関大に届かなくなってしまうのです。

●きちんと質問できる人を見つける

高校の授業は中学時代と比べて圧倒的に進度が速くなり、また、難易度も上がります。どこかつまずく場所があると、膨大な時間をとられてしまうということが多くなってしまいます。質問できれば5分で解決するのに、自分で考えて理解し

なければならぬと3時間かかってしまう、というようなことが頻発するのです。


学校の先生でもよいし、ご兄弟がおられたらお兄さんやお姉さんでもよいのですが、とにかく「質問できる環境」をいかにつくるか、これが重要なのです。

カイチ予備校で

このGrowingが皆様の手元に届くころ、中3生の方は高校入試の追い込みの時期かと思えます。私立の結果は2月に、公立の結果は3月中旬頃に発表、カイチで頑張った努力の成果を願っております。

無事、高校に合格されたら、カイチ予備校の春期講習にぜひ参加してみてください。灘高校で教壇に立たれていた田中先生など、無料で楽しい講座が受けられます(対象はカイチ出身者のみです)。

先ずれば人を制す。高校合格後、入学までの時間を使って、カイチ予備校で高校入学後の学習準備を完璧にしてみませんか。



田中 秀彦 先生紹介

京都大学理学部卒、同大学大学院修士課程(数学専攻)修了。JICA(青年海外協力隊)の一員としてバブアニューギニアで働いた後、河合塾、神戸女学院中高部で数学講師として勤務。2012年より灘高等学校中学校で数学科の講師として勤務、東大理III合格者や数学オリンピックのメダリストなど多くの優秀な生徒を指導。大手出版社の問題集執筆、全国模試の問題作成など、教材作成面でも多くの経験を持つ。カイチ予備校では「高1京阪神数学」などを担当。

